



# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します

地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます

常に新しく良質な医療ができるように心がけます

皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

- 1.気づきの医療
- 2.わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟：理学療法士

橋本病院でもリハビリテーションに、このデュアルタスクを積極的に取り入れています！！

### デュアルタスクって何？

デュアルタスク(二重課題)とは、2つの課題を同時にこなす事を意味します。例えば「テレビを見ながら掃除をする」という“ながら動作”的事です。これにより、運動による効果(脳機能を強化するたんぱく質の活性化)と、頭を使うことによる効果(認知症で委縮しやすい前頭葉を鍛える)という二つの効果が組み合わさり、より効き目のある認知機能アップが期待されます！！

### 認知症予防最前線！最近話題のデュアルタスク！！

これを読んでいる方の中にも、「最近物忘れがひどくなってきたな～」「家族が認知症になって困っている」という方も多いのではないでしょうか。そんな中、認知症に対する効果的な予防方法としてメディアにも多く取り上げられるようになったのがこの【デュアルタスク】です！！

### 何をすれば良いの？

- ・散歩しながら計算をする。
- ・だれかと会話しながら料理をする
- ・ひとりじゃんけん …など

普段の生活の中で  
出来る事ばかり！

ぜひやってみて下さい！！



## 回復期リハビリテーション病棟：作業療法士

### 自宅退院後の生活を見据えた作業療法士の取り組み

自宅退院後の生活には、日常生活動作(食事、整容、更衣、排泄、入浴)の獲得の他に、**その人の生活に合ったリハビリ内容を提案することも必要です**。当院では入院時より、作業療法士は「**その人が自宅に帰ってから何をしたいのか**」「**家族が何を求めているのか**」など、本人・家族から情報収集をします。例えば、自宅での家事動作(炊事、洗濯、掃除)や、畠仕事、犬の散歩、花作りなど様々な行為が挙がってきます。そのため**早期から家屋調査を行い、個人の生活スタイルを把握し、今後必要となる生活動作・行為の把握に努めます**。病院での動作練習だけではなく、自宅での動作練習や環境調整を行い、退院後の生活で困ることがないよう、回復期リハビリテーション病棟では自宅での生活を想定したリハビリを提供しています。



自宅での掃除動作を想定したリハビリ場面

実際に掃除場面で使用する道具(箒、掃除機)を使用し動作の確認、練習を行っています。

また**患者様1人1人の自宅環境(畠、フローリング等)**に近づけて動作練習を行うことで、より**自宅退院後の生活をイメージ**することができます。

道具を安全に使用できているのか以外にも、物を持った状態で安全に動作が可能か、長時間の立ち作業は可能かなど、身体機能面も評価しながら、リハビリを進めています。

## ソーシャルワーカー

### ★入院から退院までのソーシャルワーカーの関わり★

入院時

～インテーク面接、入院説明～  
入院時に患者様・ご家族様に対し入院説明を行い必要な物品の説明や書類をお渡します。また、同時にインテーク面接を行います。インテークとは初回面接の事で、入院前の患者様の生活の様子をお伺いしたり、リハビリを行っていくにあたっての希望や要望を患者様・家族様にお伺いします。入院前の様子をお伺いすることによって患者様一人一人の今までの生活の様子、何が好きでどのようなことをしていたのか、リハビリに生かせるものはないかなどを検討します。



入院中

●相談援助  
その都度、困ったこと気になったことに対して随時相談に乗らさせていただきます。例えば、入院費や、今後の生活に対する不安、入院生活においての不満・要望などです。  
●社会資源の情報提供  
自宅で生活するうえで利用した方がいいと考えられる介護保険や身体障害者手帳等について各患者様に合わせて情報提供をさせていただきます。  
●関係機関との連絡・調整・情報提供・情報収集  
現在の状況・状態を今まで関わってくれていたケアマネジャーへ伝え退院後も安心して生活できるよう援助します。また、入院中に自宅への外出練習に同行し環境設定にも参加し安全に自宅で生活が送れるよう援助します。施設へ入所される方・転院される方は医療的な処置内容や現在の体の状態を細かく担当者へ情報提供し、退院の日程調整を行います。



退院



退院を目指して一緒に頑張りましょう！！

## 認知症治療病棟

### お出かけ～焼き芋～

12月に病院の畠で焼き芋をしました。

火を起こすところから患者様と一緒に行いました。不慣れなスタッフを見かねて火起こしを手伝ってくれる男性患者様。手際よく火を起してくれて、スタッフがびっくりしました。煙に「煙たい～」と笑われたり楽しそうな様子で焼き芋が焼き上がるまでスタッフと一緒に寒空の下で待ちました。出来立ての焼き芋を上手に皮を剥き、頬張っている姿が印象的でした。

昔を思い出しながら楽しむという事や、季節に合った美味しい食べ物を食べる事、肌や臭いで感じて楽しむ事は、認知症進行予防に大切なことです。

今後も患者様みんなが楽しいと感じるを実施できるよう取り組んでいきたいです。



## 通所リハビリテーションセンターはしもと

## スマイルカフェ



平成27年12月12日土曜日 スマイルカフェ開催  
暖かい陽気に恵まれて多くの地域の方に参加して頂きました。  
ポチ袋作りや予防体操などを行い、大いに盛り上りました。

## はしもと畑



12月23日水曜日 家族会(クリスマス会)開催  
ハンドベルやハーモニカの演奏、全員参加での合唱、  
猿回しのお猿さんまで登場し、利用者様も家族様も  
大変喜ばれていました。

## お知らせ

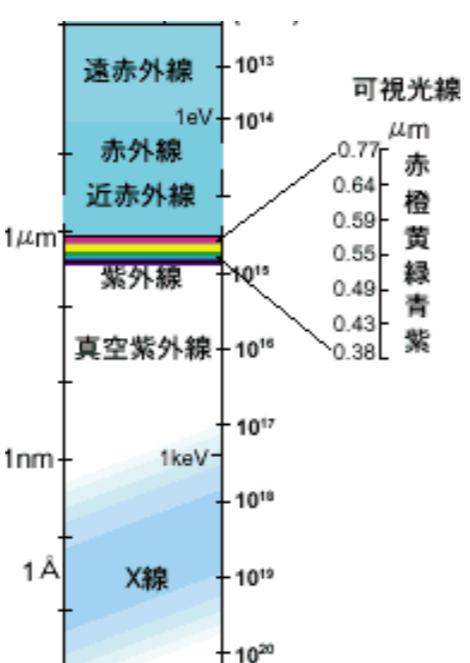
スマイルカフェ開催  
開催日:平成28年2月13日(土)  
時間:9:30~  
今年もどうぞよろしくお願いします!!



## 放射線部

## ~「光」…可視光も電磁波も同じ~

可視光線(見える光)・紫外線・赤外線・X線・TVラジオ放送に使う電波はすべて同じもので**波長**(※波長…空間を伝わる波(波動)の持つ周期的な長さのこと)が異なるだけです。右の図の通り、波長ごとに区分けしてそれぞれの名前をつけています。遠赤外線よりも波長が長いものが電波として使われ、X線よりも波長が短いものにγ線などがあります。身近なものでは紫外線と言えば日焼け、赤外線といえば暖房、X線はレントゲンなどがあります。X線は紫外線よりも波長が短く体のなかを通り抜けるため、医療用としても利用されています。



## 橋本病院指定居宅介護支援事業所

## ～自分の能力を積極的に生かすことが若々しさの秘訣～

## ★★体を動かすことによる効果★★

## ・再生能力を活用して体の萎縮を防ぐ

体を動かさせて刺激を与えて再生能力を高めると体の機能回復、維持が図れる。

## ・細胞の質の低下を防ぐ

栄養と酸素を豊かに含んだ血液が全身の毛細血管に行きわたり筋肉の回復、維持ができる。

## ・心臓と肺の機能を回復し維持

息を強く吐きながら体を動かすと自然に息を吸うことができ、多くの酸素を取り入れることができる。

## ・心臓が押し出す1回の血液量が増え心臓機能が高まる。

## ・日常生活動作を回復し維持する

動くために働く骨、関節、筋肉などの機能が回復し、日常生活動作能力を保つことができる。

## ・心に若々しさを取り戻す

活動的になり、様々なふれあいができるで心が豊かになってくる。心が安定して積極的になると生きがいを求めて体を使おうと行動する。



高齢になんでも積極的に自分の体を動かせ健康に過ごしましょう！

## メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと

## 地域包括ケアシステム

昨年4月に介護保険の改正があり、制度が大きく変わりました。

改正のポイントは「地域包括ケアシステム」という、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるために、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」などを一体的に提供していく仕組み作りが具体的に行われました。それに伴い、通所介護の在り方も見直される事となり、その中の一つ、「新しい総合事業」があります。生活支援の取り組みを行います、介護保険の予防給付のうち訪問介護・通所介護が、これに移行されます。

(平成27年4月～平成30年3月末の間に実施されます。詳しくはお住いの市町村にご確認ください)

「新しい総合事業」の内容は、

- 1.高齢者の方が支援される側という一方的な関係ではなく、サービスを利用しながら地域との繋がりを持ち、生きがいや役割つくりができるよう、個々の能力に応じた柔軟な対応を行います。
- 2.従来のサービスに加えて、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様なサービスを活用して、高齢者を支援していきます。
- 3.リハビリテーション専門職など、専門的なサービスを必要とする方には専門的なサービスが提供されます。

当施設でも、この取り組みに積極的に参加する予定です。地域包括支援センターや他のサービス事業所と連携をとり、利用者様が地域で生き生きと生活できるよう関わります。

◎利用相談・施設見学を随時受け付けています。 担当者:森・高橋  
医療法人社団和風会 メディコポリス観音寺 デイサービスセンターはしもと  
香川県観音寺市観音寺町甲2972番地1 TEL:0875-23-3311 FAX:0875-23-3527  
HPアドレス:<http://www.wafukai-hashimoto.jp/>



## ボランティアのご協力

## ボランティアのご協力をしていただける方を募集しています！

内容として…(踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など)

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先:0875-63-3311 担当者:宮本 美恵子

メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先:0875-23-3311 担当者:森 香代子

上記の担当者までお問い合わせ下さい。

## 栄養部

## イベント食をご紹介いたします！



12月のバイキングではフルーツコーナーにパインアップルのクリスマスツリーが出現しました!!

## 患者サービス委員会

## 患者サービス委員会

## 【活動内容】

- 勉強会…院内のスタッフを集めて患者様に対する接遇の勉強会をビデオや実演を交えて実施しています。
- 体験入院…実際にスタッフが24時間の入院を行い患者様の気持ちに近づけるように体験しています。
- 患者満足度調査…アンケートを実施し、それを基に接遇や設備の検討を行っています。
- 外来待ち時間調査…外来患者様の待ち時間を調査し、できるだけ早く診察などが受けられるようにしています。
- 挨拶運動…各部署へ挨拶がきちんと行われているか巡回を行っています。
- 身だしなみチェック…清潔感のある服装や髪型をしているかスタッフ同士でチェックする機会を設けています。

患者様によりよい医療・看護・介護の提供ができるように取り組みをしています。今後ともよろしくお願ひいたします。



## 募集のお知らせ



薬剤師  
看護師・准看護師  
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！  
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。  
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
TEL0875-63-3311(人事担当:安藤)

## 地域連携部

平成25年12月1日から行っている事前訪問(入院されている病院へ訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等)の平成27年12月の実績(回復期リハビリテーション病棟対象)を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数:26件
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの日数(中央値):4日
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの日数(中央値):12日

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの日数は1週間前後です。大変お待たせして申し訳ございません。

## 対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



## 移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。

## 事務部

## ～診療実績(H27.12月)～

病棟名	1病棟(29床)	2病棟(60床)	3病棟(60床)
入院料	回復期リハ	回復期リハ	認知症治療
平均入院患者数	28.5人	59.3人	59.7人
平均在院日数	71日	104日	333日
在宅復帰率	91.3%	88.6%	—

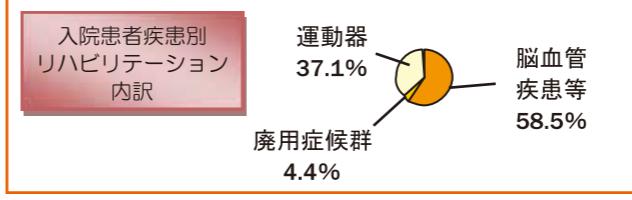
## 《提示のお願い》

下記証書の有効期限が平成28年3月31日になっております。  
新しい証書がお手元に届きましたら受付窓口まで提示をお願い致します。

- ① 国民健康保険被保険者証 ②国民健康保険高齢受給者証

## MERRY CHRISTMAS

通所リハでのクリスマスパーティーで、託児所の子供達にサンタさんからプレゼントが配られました！



## 訪問リハビリテーションセンターはしもと

### ★★平成27年6月より『訪問リハビリテーションセンターはしもと』を開設しました★★

#### ○ 訪問リハビリって何をしてくれるの？

- ・最近、トイレや起き上がりに介助が必要になってきた。
- ・家中で転ぶ事が増えてきた。
- ・外に出る事が減り、体力や筋力が落ちた気がする。
- ・退院して家に帰ったけど、介護が大変。

などの御自宅での様々な問題を、リハビリの視点から解決いたします。

その他にも、「買い物に行けるようになりたい」「友人宅まで出向きたい」など、屋外での歩行練習やバス等の公共交通機関の利用練習を行い、生活範囲を広げる支援をいたします。また、畠仕事、ガーデニング、カメラ、パソコン等、室内・室外に関わらず、その人、一人一人の望む余暇活動再開のお手伝いを支援させていただきます。

#### 提供日・提供時間・利用可能地域

提供日 **365日**(但し、年末年始の12月31日から1月3日は除く)

提供時間 午前9時00分～午後5時00分

提供地域 **三豊市、観音寺市、仲多度郡、善通寺市、丸亀市の区域**

1回60分の訪問を基本とし  
ご相談のうえ、回数・曜日・  
時間帯を調整します。



#### 対象となる方

1. 介護保険を取得されている方
2. 介護保険は取得していないが通院によるリハビリを受ける事が出来ず、以下の病名を診断された方
  - ・脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、  
多発性硬化症、高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、脊髄損傷
  - ・大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折
  - ・外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有している方 等。

#### スタッフ紹介

※以下の3名がご自宅にお伺いしリハビリを提供させていただきます。



理学療法士  
佐藤 勇人



理学療法士  
佐藤 和美



作業療法士  
田邊 夏美



利用相談はお気軽にご連絡下さい！

訪問リハビリテーションセンターはしもと

窓口：佐藤 勇人

電話：070-1443-7990(直通)

0875-63-3311 (代表)

医療法人社団和風会 橋本病院  
〒768-0103  
香川県三豊市山本町財田西902-1  
TEL:0875-63-3311  
FAX:0875-63-2651  
入院相談直通電話:0875-63-3552  
E-mail:wafukai@gaea.ocn.ne.jp  
ホームページ:<http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
発行元:橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床  
療 認知症治療病棟 60床  
  
橋本病院指定居宅介護支援事業所  
介 通所リハビリテーションセンターはしもと  
護 メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと  
橋本病院観音寺指定居宅介護支援事業所

